[GreenPepper PRO] Tutorials

CD、USBメモリ起動、ネットワークブート (PXE)

PCをWindowsの入った内蔵ディスク以外から起動させることは、少しやっかいな部分があります。ここではその方法を解説します。 PCによっては、CD、USBメモリを挿入するだけで、そこから起動する場合もあります。その場合は、以下の作業は必要ありません。

ブートデバイスの選択



CD、USBメモリ起動、ネットワークブート (PXE)

別の方法として、上記「ブートメニュー」を表示させる方法(方法2)と同様の手順で、PCの起動時に、あるキーを押すことで設定画面に入る方法があります。ただし、ブートメニュー表示とは異なるキーです。

例えば、F1キー、F2(Dell他)、F10 (HP)、[Delete]キーまたは他のキーの 場合もあります。通常は、メーカーのロゴが表示された直後から、指定の キーを押し続けるか、繰り返し押します。メーカーのマニュアルでご確認く ださい。

BIOS/UEFI 設定例

Info System Advanced Security Power Boot Exit

Boot Option Priorities Boot Option #1 Windows Boot Manager (WD SN123 SDDABD-256G) Boot Option #2 UEFI: PXE IPv4 Intel® Ethernet Connection Boot Option #3 UEFI: PXE IPv6 Intel® Ethernet Connection Boot Option #4 UEFI: (VerbatimSTORE N GO PNAP) Boot Option #5 UEFI: PIONEER BD-RW BDR-TD051.02

セキュアブート(Secure Boot)の問題

「ピーマンPRO」システムは、"Secure Boot"が有効な状態でも、多くのPCで起動可能です。ただし、一部のPCでは、"Secure Boot" のしくみが起動を妨げる場合があります。

その場合、PCがセキュアエラー(Secure Error)メッセージを表示して起動を停止する場合、メッセージ表示後、通常のデバイスから起動する場合、何もメッセージを表示せず、通常のデバイスから起動する場合などがあります。

WindowsPEのCD/USBメモリから起動する場合は、"Secure Boot"有効のままで問題ありません。

方法

UEFI設定で"Secure Boot"を無効(disabled)にする

上記「方法3」で説明した方法で、BIOS/UEFI設定にはいります。 "Secure Boot"の設定で、 [disable]にします。

もし、"Secure Boot"メニューに "Third-party UEFI CA" 項目(名称は 異なる場合があります)がある場合、これを有効[enabled]にすることに よって、"Secure Boot"を有効にしたままでも、起動が可能になる場合が あります。 BIOS/UEFI 設定例

